



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: NPO法人チャイルドサポートきくち  
放課後等デイサービス COCHI

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・排出ごみの削減に努め、全職員が適切な分別・処理ができる。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・各部屋に「節電ステッカー」を貼付し職員の意識付けを強化している。 【予定】1年以内にエネルギー使用量を把握する。							7.3					13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・エアコンなどの空調機の温度設定を定め、エコ活動を推進している。 ・事業所指定のポロシャツを使用し、クールビズ対応としている。 【予定】1年以内に社用車の使用によるガソリン使用量からCO2排出量を把握する、目的で県ホームページに掲載されている簡易計算シートでCO2排出量を算出する予定			2.4								12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に努め、エコバッグなど多めに用意して活用できている。 ・療育プログラムとして、子どもたちへ「ポイ捨て」による2次被害など、見落としがちな悪影響をとりあげ学習している。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・日常的で身近な廃材をもとに、自由な発想力をはぐくみ、子どもたちの創作活動をおこなっている。 ・リデュース・リユース・リサイクルの3Rを療育プログラムに取り入れることができている。										9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所内の水道全箇所に「節水」ステッカーの表示をおこない、職員・児童ともに節水に取り組んでいる。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙や裏紙の利用を推進している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・平日のおやつ、または調理実習や長期休暇中の昼食などを通じて、食育の支援をおこなっている。 ・定期的な集団プログラムのなかで、生産・加工・輸送・販売など様々な人が関わっている事、つながりがあることを教示できている。		1	2			6.4							12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・療育プログラムに季節感を味わうことや植物や野菜などを育て、最後まで責任をもって処理・消費する教育をおこなっている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・療育プログラムとして、子どもたちへ「ポイ捨て」による2次被害など、見落としがちな悪影響をとりあげ学習している。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・職員の通勤手段として、公共交通機関の利用や自転車通勤等を勧められている。 ・療育プログラムとして公共交通機関の利用方法の練習をおこなっている。									9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●															7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13		17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: NPO法人チャイルドサポートきくち  
放課後等デイサービス COCHI

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・送迎車両などは定期的に点検表を用いてチェックしている。 ・療育の活動内容は毎月公表し、SNSなどを通じて保護者の要望やクレームを受け付けている。 ・十分な人員を現場に配置し、質の高い療育の提供がなされている。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・社用車はすべてAT車で免許所有者であれば誰もが運転可能である。 ・施設はバリアフリーで、エレベーターなども備えており、実際に車いすの児童も利用している。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1			15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		・障がいや性別などに関なく、誰もが活躍できる機会が獲得できるインクルーシブな社会づくりに児童福祉・療育として児童期～思春期に貢献し、就労や生活支援を視野に入れた包括的支援に努める準備や取り組みが整う。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・児童福祉事業所として菊陽町を中心に隣接した区域を含め、未就学児には児童発達支援、児童(6～18歳)には放課後等デイサービスの通所型療育を複数の事業所で行っている。 ・障がいのある児童が安心してすごせ、発達支援や生活動作の自立を目標に個別～集団まで幅広い療育がなされ、送迎サービスの利用などで保護者も安心して就労・勤務できる環境を支援している。 ・児童の教育や支援を通して地域や日本の将来を支え、障がい者も健常者と同じように誰もが活躍できる機会や場の提供・開拓に貢献できている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・隣接した防災センターを積極的に利用し、避難訓練や防災訓練など年間行事にそって実施できている。 ・看護師を常時配置しており、日頃から命の尊さや危険防止・回避・予測等の訓練や対策を療育活動として取り入れている。				4						11.5		13.1				16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		・事業所は「防火管理者」を1名以上の責任者を配置できている。近隣の地域活動への参加や継続する職員の育成など具体的なビジョンも持っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		・SDGsの推進事業者として専任者を定め、企業と事業所のつながりを深め、福祉へ支援してくれる社会的なつながりを促進している。 ・療育プログラムに「SDGs」が組み込まれており、そのものの理解を促したり、絵本の読み聞かせを通じて、考え方や異なる視点への気づきや教育をおこなっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●		・小・中学生の職場体験学習、社会福祉士や教育者、看護師等の実習の受け入れなど幅広く利用できる環境が整うよう努めている。				4				8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●		・児童福祉分野において未経験者でもキャリアアップをめざす若者の雇用を促進し、県内での就労、および定着化が強化できる人事システムを構築できている。 ・新卒に限らず既卒者も含め、誰もがコーチング制度やメンター制度を活用し、共に働きやすい環境の維持に努め、キャリアパスにそった目標を職員が意識して動めることができている。				4.4				8.5 8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2							8.6		10.2		12	13	14	15			17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。